

大事協だより

大島地区公立小・中学校事務職員協会 研修部
第22号 2008年10月発行

<二学期始まりました！>

だんだんと過ごしやすい気候になってきました。学校行事も目白押しの中、それぞれの学校で皆様、頑張っていることだと思います。今月号は、奄美市笠利ブロックの皆様が、紙面編集していただきました。ありがとうございます。次号は、喜界町の皆様、よろしくお願いします。

<平成20年度第二回執行部会報告>

大島地区小中学校事務職員協会執行部会が平成20年10月10日(金)に奄美市で開催されました。活動経過報告や第三次県費事務改善検討委員会報告、今後の活動計画について話し合いました。詳細については、10月28日(火)に理事会を開催予定なので、各市町村理事と確認をしたいと思いますので、よろしくお願いします。

<県事協からのお知らせ>

○「県事協だより」について○

「県事協だより」は、各市町村理事を通じてメール又は、郵送で届けております。各市町村理事の方は、会員への配布をお願いします。現在、NO.48 2008年9月17日号まで発行済みです。届いていない場合は、円小学校・松久保まで連絡をお願いします。

○CDの整理をお願いします○

「県事協だより NO.45 2008年3月13日号」でお知らせしていますが、これまで県事協が作成し、学校で活用されているCDについての整理をお願いします。最新版を今年度末に配布予定のものもあります。今後も改定されていきますので、**最新のものを確認しましたら、旧バージョンは廃棄してください。**最新バージョンは、次の通りです。

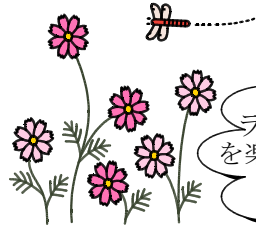
- ①県旅行起点表(06年7月現在)
- ②福利厚生関係様式記入例集(08年1月現在・・・HP参照)
- ③県費事務実務手引書(06年11月現在)
- ④諸手当認定・電算マニュアル(07年11月現在)
- ⑤旅費検索システム(08年1月現在)

☆各学校で活用中に訂正等生じましたら、訂正箇所については、戸円小・泉まで、メール等文書で連絡ください。

○他地区の資料が届いています○

内容は、次の通りです。御覧になりたい方は、龍南中学校・藤崎まで連絡をお願いします。

- (1) 揖宿地区小・中学校事務職員研修会
日時：平成20年6月6日(金) 13:15～16:35
場所：南薩地域振興局揖宿庁舎3会会議室
内容：総務課関係(給与・旅費)・指導課関係・事務連絡
- (2) 曾於地区小・中学校事務職員研修会
日時：平成20年5月23日(金)14:00～16:30
場所：曾於庁舎第一会議室
内容：①旅費事務について②給与・認定事務について③質疑応答
- (3) 出水地区小・中学校事務職員研修会
日時：平成20年5月23日(金)
場所：北薩地域振興局出水庁舎2階会議室
内容：①地区教育行政の重点施策等について②旅費事務等について③給与事務等について④研究討議
- (4) 出水地区小・中学校事務職員研修会
日時：平成20年7月11日(金)
場所：北薩地域振興局出水庁舎2階会議室
内容：①講演「こころの健康と働きやすい職場づくり」講師：臨床心理士富田恵子②事業概要等(教職員互助組合・公立学校共済組合)③給与事務④旅費事務⑤研究討議



今年の夏、お魚・F4 ラスベガス、いろいろな映画を楽しんだ方もいらっしゃるのではないのでしょうか？
次は、このような映画はどうですか？

○映画「アース」主演 46億歳、地球○ 伊仙町立鹿浦小学校 久保 芳則

海洋ドキュメンタリー「ディープ・ブルー」のスタッフが取り組んだ映画ということで、是非観たいと思っていた。期待に違わぬ作品に仕上がっていたので心から嬉しかった。

50億年ほど前、巨大な小惑星がこの地球に衝突した。そして地球を23.5度も傾けてしまった。しかし、この衝突事故は大惨事どころか、“生命星・地球”の誕生に重大な役割を果たすこととなった。この傾斜が無ければ四季そして生命が息するための完璧な条件は揃わなかったとナレーション役の渡辺謙が語る。

北極から南極への命の旅が圧倒的なスケールで展開する。多種多様な多くの動物が出るのであるが、北極グマ親子の春の目覚めからアザラシを追っての旅、ザトウクジラ親子のオキアミを求めての熱帯の海から南極の海への旅、アフリカ象親子の集団の水と食料を求めてサバンナの旅がメインだ。いずれの旅も命の保障のない過酷なものである。これらの動物は共通して非常に巨体の持ち主である。しかし、視線を遠方から送ると何ともその存在はちっぽけで、頼りなく、危うい。

カメラは流血を撮らない。そして動物の子供の愛らしい仕草も撮らず、決して観客に媚びることはない。ただ北極オオカミ、チーター、ホオジロザメの狩りのシーンの美しさには息を呑んでしまった。外にも感動的な見所は多い。子供と一緒に観るのには、最適な作品だ。動物好きな人は、勿論、景観に興味のある人、環境問題に関心のある人には当然として是非観ていただきたい。カメラはひたすらクールであるが、母親が子供を見つめ「早くおいで」「どこにいるの」「おなかかすいたけど、頑張って」「急ぎましょ」「もう安心ヨ」「よく頑張ったワ」等セリフが聞こえそうである。その視線はあくまで暖かく、慈しみ深いのである。



この関係を邪魔し、破壊すること、は決して許しがたいことである。動物たちは命を育て、生きるため、そしてより大きなものを小動物が、そして強いものがと連鎖的に主食が行われている。何とも全てが生きるためである。人間も太古からある時期までは動物と違わぬものであったのだが、知恵が、科学が私たちに便利を、快楽を求めさせたのである。成り行きの当然として行われたのであるが、地球規模的に温暖化、大気汚染等の環境破壊とまでなってしまった。動物たちは何が起こったのか理解できないでいる。しかし氷が薄くなった。森が少なくなった。エサとなるものが少なくなった。そして仲間も少なくなってきたと感じているのではないだろうか。ただ人間の仕業とは感じられないでいる。

今、少し便利と快楽を考えてみたい。自分の子供、孫そして未来の人類のために。地球は決して人類だけの場所ではないのだから。

定年後のリフォームは少し高価だけれども、太陽光発電装置も検討したいものだ。私のできる省エネは、小さなものでもやらねばならない。

「これまでにカメラに収められたことのない、地球上で最も美しいものを目にする、これが最後のチャンスである」

監督 アラスデア・ファサージェル



<各地区からのたより>

今回の原稿は、奄美市笠利ブロックから届きました。ありがとうございます。次号は、12月発行予定です。原稿は、喜界町へお願いいたします。

各市町村管外研修を予定していたり、実施したところもあると思います。その時の感想・写真等もお待ちしていますので、よろしく願います。



「タンギョ」

奄美市笠利ブロック 佐仁小学校 河南ゆみ子

今年、夏休みの笠利ブロックの一日研修の計画を立てるにあたって、たまには奄美の自然について学習するのでもいいかなと考えました。そこで奄美博物館の館長さんを講師に迎え、住用にある「タンギョ」に午後から行く計画を立てました。

ところが、奄美市の学校教育課から、「職務に直接関係ないので出張は認められない」ということで、公文を出してもらえませんでした。いろいろ奔走した揚句に、不本意ながら年休という形で参加することになりました。

住用支所に勤める親子、環境省の職員、館長、それに事務職員5名計9名の参加でした。(かなりハードな場所だったので足腰に自信のある方のみ参加)タンギョの「ギョ」というのが滝の意味だそうです。そこに行くために、全身に汗をかき、途中滑ったり、ロープをつかみながら谷の方におりていきました。大正時代に造られた住用ダム跡(アマミノクロウサギのフンを発見)では、そこを流れる川の水を飲み、ケンムンのほら穴を見て、やっとなんかたどりつきました。山奥に50mの高さはあろうかと思われるところから水が流れ出し、どちらかと言えば優しい流れの滝が目の前に現れました。

苦労してたどり着いたタンギョを眺めながら、この計画を立てるにあたり、多くの方が相談に乗って下さり、励ましてくれたことに感謝することでした。途中この計画を白紙に戻そうかとも思いましたが、やはり実行してよかったですと思いました。

以前私が勤務していた市では、学校教育課ではなく総務課が事務職員研修会の担当でした。ここに問題がありだなどと思いついてから、総務課が担当して下さるようお願いをしたところでした。(どうなるかわかりませんが)



☆今回は2名の新規採用者の声が届きました☆

☆ブロック別に紹介します☆

奄美市西部ブロック 芦花部小中学校 針原 和江

4月に新規採用で奄美市立芦花部小中学校に赴任になって、4ヶ月が経ちました。以前3年間奄美で暮らした経験はあるものの、自分一人で社会人として暮らす今回とはまた違い、赴任当初はとても不安でした。まず何をしたらいいのかも分からない状態の私に、先輩事務職員の先生がお忙しい中、手を差し伸べて下さいました。印影届や委任状等の提出、手当認定など、年度当初の事務手続きについて教わりました。その後も分からないことが出てくる度電話をかけ、大変お世話になりました。何とか期限内に終わらせることができたものの、後からあの手続きにはこんな意味があったのかと理解することも多く、目の前のことを片付けるのに必死だったのを思い出します。

また備品購入等に関しても、現在の備品の状況を把握していなかったり先生方にご迷惑をおかけしてしまいました。そんな中授業を拝見する機会があり、備品や消耗品が活かされているのを見て、事務職員は間接的に子ども達の学習に関わっているということに改めて実感しました。普段から授業等、学校の様子をよく見て、事務職員なりの観点から先生方や子ども達を支えていくことができるよう努力していきたいです。

今日まで、何とかやってこれたのは、周りの方々がいつも支えてくださったからです。感謝の気持ちを忘れず、今後は赤本等により自ら学ぶことをしていきたいです。認定権限の委譲、共同実施の導入など変化の時代の中で、学校唯一の行政職員として知識を身につけ、しっかりと学校を支えている事務職員になれるよう日々努力していきたいと思えます。



奄美市笠利ブロック 屋仁小学校 拵 友子

事務職員として屋仁小学校に赴任して、早いもので5ヶ月が過ぎました。昨年度は、教諭として勤務していたため、事務の仕事というのがさっぱり分からず、ぼつんと1人事務室で座っていたのを鮮明に覚えています。

「分からないことがあったら、いつでも電話しなさいよ!」と、温かい言葉に背中を押されて喜界を離れ、笠利で待っていたのも、「ようこそ笠利町へ。仕事を教えに行くので、時間ができたら連絡をください。」という温かい言葉でした。何も分からない私に、0から丁寧に教えて下さる母のような先輩、1日に何度電話をかけようとも、「今度は何〜?」と冗談を言いながらも優しく教えて下さる兄・姉のような先輩方……。事務職員の方々の、助け合い精神に本当に感動し、とても心にしみました。そんなチーム笠利の一員になれたことを、今とても嬉しく思っています。

この5ヶ月間、先輩方に教えていただき、助けていただきながら事務処理をする中で、昨年度1年間教諭として勤務していた自分を、事務の先生がこんなにもサポートしてくださっていたのかと、感謝の気持ちが込み上げる毎日でした。当たり前のことだけれど、自分の周りにいてくれる皆さんへの感謝の気持ち……。笠利に来て、改めてそのことに気付くことができました。

感謝の気持ち・たくさんの人との出会い……。笠利で見つけた私の宝物。事務の仕事は、まだまだ未熟ですが、この2つを大事に大事に、毎日笑顔とガッツで頑張っていきたいと思えます。



○大事協は次のような意義のもと 設立・活動しています○

○御確認をお願いします○

<協会設立の基本理念に則り、
更なる発展を目指して活動する。>

- ①大島地区小・中学校事務職員全員参加の「輪(わ)」=会を設立する。
※情報交換の場として(地理的条件の克服)
- ②当分の間は、地区内の緩やかな繋がりを持つ会として。
- ③「資質向上」につながる会として。
- ④今後の大島地区内における「学校事務」について考える場
意見交換の場として。
- ⑤実務面での研修を補うものとして。

○編集後記○

二学期も始まり、九月には台風情報を気にすることも多かったと思います。恵みの雨になったところもあれば、そうでないところも、あったのではないのでしょうか。これから、管外研修の計画や、年末に向けていろいろありますが、体調に気をつけて乗り越えていきましょう!